

No 1

平成30年度 港区事務事業評価シート

評価対象

事務事業名	芝地区地域ふれあい事業	開始年度	平成 18 年度
所属	芝地区総合支所管理課管理係	種別	—
所管課長	芝地区総合支所管理課長		
基本政策	3 地域の課題を自ら解決できるコミュニティをつくる		
政策名	(11) 多様なコミュニティをつくる		
施策名	① コミュニティ意識の醸成		

事業概要

事業の目的	芝地区で地域のさまざまな方々のふれあいの場と交流の機会を提供するとともに、地域に潜在している人材や組織等の力を発揮できるようにします。
事業の対象	芝地区を中心に活動している団体・事業所、保育園や子ども中高生プラザ、いきいきプラザ等の区関連施設等で活動している団体及び地域住民
事業の概要	参加団体による実行委員会を組織し、出店部門を「地域ふれ愛マーケット」、コンサート部門を「地域ふれ愛コンサート」として実施しています。出店部門では、パネル展示やゲーム、飲食などの模擬店を実施。コンサート部門では、地域の方による合唱、バンド演奏、ダンスなど、日頃の練習の成果を披露し、来場者とともに地域のつながりや連帯感を深めます。
根拠法令等	—

事業の成果

指標	指標1	参加団体数			指標2	来場者数(延数)			指標3	当初予定	実績	達成率
		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率				
	平成28年度	60	60	100.0%	平成28年度	6,000	6,000	100.0%	平成28年度			
	平成29年度	60	65	108.3%	平成29年度	6,100	6,200	101.6%	平成29年度			
	平成30年度	60	—	—	平成30年度	6,100	—	—	平成30年度		—	—
指標から見た事業の成果	芝地区を中心に活動している団体の日頃の成果を発揮・発表する場として定着しています。また、来場者数も毎年増加傾向にあり、地域の多様な交流の促進が図られています。											

事業費の状況(単位：千円)

年度	予算状況									決算状況	
	当初予算額	一般財源	国庫支出金	都支出金	基金	その他	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率
平成28年度	9,058	9,058	0	0	0	0	0	0	9,058	7,926	88%
平成29年度	8,550	8,550	0	0	0	0	0	0	8,550	8,359	98%
平成30年度	8,431	8,431	0	0	0	0	—	—	—	—	—
事業費から見た事業の状況	事業費は競争入札により減少傾向にありますが、有効に予算を執行し、事業を運営するためには、一定水準の事業費を確保する必要があります。										

事務事業を取り巻く状況等	
前回評価からの改善事項等 (付帯意見への対応等)	出店団体の増加及び国際化に向けた取り組みの一環として、区の働きかけにより、新たに芝地区に移転してきたキルギス大使館の出展がありました。
区民ニーズや要望 (今後の需要見込み)	芝地区では、区民センターがないため区民活動の発表の場となっており、区民の要望は高くなっています。
他団体等の取組状況 (類似事業の有無)	みなと区民まつり(みなと区民まつり実行委員会)、麻布区民センターふれあいまつり(麻布区民センター)、赤坂コミュニティまつり(赤坂区民センター)、高輪区民センター輪い輪いまつり(高輪区民センター)、芝浦港南ふれあいまつり(芝浦港南区民センター)、お台場夏まつり(台場区民センター)
コスト削減の工夫・余地	区の実行委員会方式の運営であり、区民の手作りのイベントとなっているため、会場設営等の最小限のコストで実施しています。従事職員を最小限とし、従事時間を精査して最小限の動員を行うなど、コスト削減へ向けた取り組みを行っています。
委託の有無	一部委託 なし 一部委託 全部委託
委託の内容	・企画補助、会場設営等委託 ・芝地区キャラクターPR支援業務委託 ・廃棄物処理委託
委託等アウトソーシングの余地・可能性 (委託なしの場合)	—
事業の課題	芝地区で活動している団体が、日頃の活動の成果を発揮・発表する場として定着してきています。しかし、会場が限られていることもあり、出店団体やふれあいコンサートの内容の充実に向けた取組への工夫が欠かせません。また、例年は好天に恵まれてきましたが、雨天等の荒天時への対応を検討する必要があり、引き続き、将来の(仮称)文化芸術ホールの利用等を含め実施場所、実施方法等の検討の継続が必要です。
次年度へ向けた事務の改善点	国際化・芸術振興への取組みの充実を図るとともに、現在職員が行っている一部の業務についても、さらなる委託の可能性を検討し、事業内容の効率化に向けて委託事業者とともに精査します。

一次評価(所管課による自己評価)		
項目	評価※	評価の理由・コメント
① 事業継続の必要性	4	芝地区で活動している区民団体の日常活動の発表の場を兼ねるとともに、芝地区の区民の交流の場として、区民への認知が深まっています。区民の交流を深める公の施設の機能を代替するものとして、今後も事業継続の必要性があります。
② 事業の効果性	4	参加者数は増加しており、区民に浸透しています。
③ 事業の効率性	4	経費については企画補助・設営のみとしており、コンテンツは区民活動そのものであるため、年に一度の開催で芝地区にお住まいの住民や活動団体のつながりや連帯感を深めることが可能です。

※評価は、5:「極めて高い」、4:「高い」、3:「普通」、2:「低い」、1:「極めて低い」を目安に5段階で記入してください。

総合評価	○ 拡充 ● 継続 ○ 改善 ○ 廃止 ○ 統合
所管課による評価の理由 (事業に対する取組方針)	芝地区の連帯感を深め、芝地区の活動団体の発表の場として定着しており皆が楽しみにしている事業です。地域の方々と連携し引き続き実施します。
※「拡充」「改善」の場合は拡充・改善する具体的な内容を記載 ※「継続」の場合は継続する具体的な理由を記載 ※「統合」の場合は統合対象事務事業名を記載	

No 2

平成30年度 港区事務事業評価シート

評価対象

事務事業名	芝地区保育園地域開放	開始年度	平成 9 年度
所属	芝地区総合支所管理課	種別	—
所管課長	芝地区総合支所管理課長		
基本政策	5 明日の港区を支える子どもたちを育む		
政策名	(22) 就学前児童ケアサービスを総合的に推進する		
施策名	④ 子育て支援サービスの充実		

事業概要

事業の目的	家庭において子育てを行う保護者とその就学前の子どもを対象に、地域の保育園として子育て支援を行い、地域との交流を広げることを目的とします。
事業の対象	家庭において子育てを行う保護者とその就学前の子ども
事業の概要	<p>該当施設 港区立芝保育園、港区立芝公園保育園 月1～2回 1時間半～2時間程度 保育園で「保育園であそぼう」事業を通して下記のことを実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で集まれる場、安全に遊べる場所の提供 ・参加者同士の親睦・交流の機会を提供 ・保育園の職員による正確な育児情報の提供や個別相談の実施
根拠法令等	児童福祉法、港区地域在宅子育て支援制度事業実施要綱

事業の成果

指標	指標1	延回数（回）			指標2	延参加者人数（人）			指標3	当初予定	実績	達成率
		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率				
	平成28年度	36	27	75.0%	平成28年度	230	176	76.5%	平成28年度			
	平成29年度	36	35	97.2%	平成29年度	230	224	97.4%	平成29年度			
	平成30年度	36	—	—	平成30年度	230	—	—	平成30年度		—	—
指標から見た事業の成果	平成28年度と比較して、回数及び参加者数が増加しています。											

事業費の状況(単位：千円)

年度	予算状況								決算状況		
	当初予算額	一般財源	国庫支出金	都支出金	基金	その他	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率
平成28年度	119	119	0	0	0	0	0	0	119	116	97%
平成29年度	121	121	0	0	0	0	0	0	121	119	98%
平成30年度	115	115	0	0	0	0	—	—	—	—	—
事業費から見た事業の状況	例年95%以上の予算執行率となっています。										

事務事業を取り巻く状況等	
前回評価からの改善事項等 (付帯意見への対応等)	—
区民ニーズや要望 (今後の需要見込み)	区内の子育て世代の人口増加に加え、核家族化の進展に伴い育児の孤立化が起きやすい状況です。そのため、今後も高い需要が見込まれます。
他団体等の取組状況 (類似事業の有無)	在宅で子育てする保護者とその子どもに対する支援事業を拡充する自治体が増えていきます。
コスト削減の工夫・余地	最小限の経費で運営しており、利用者負担も求めているため、削減の余地は少ないです。
委託の有無	なし 一部委託 全部委託
委託の内容	—
委託等アウトソーシングの余地・可能性 (委託なしの場合)	保育園の職員による正確な育児情報の提供や個別相談の実施を行うため、委託の余地は少ないといえます。
事業の課題	通常の保育園の運営体制で実施している事業のため、園の人員体制の問題や、感染症流行時の衛生管理の問題から、実施回数を増加させることは難しい状況です。保護者が安心して子どもを遊ばせることのできる安全な遊び場の環境づくりと、園庭遊びなど一回あたりのプログラムの内容の充実を図ることが課題です。
次年度へ向けた事務の改善点	利用者との育児相談等を通じて、現在の利用者の本事業に対するニーズを把握するとともに、プログラム内容に反映していくことが必要です。

一次評価（所管課による自己評価）		
項目	評価※	評価の理由・コメント
① 事業継続の必要性	4	子育て世代の育児に関する不安の解消や孤立化を防止し、本事業が地域との交流の場としての役割を担っています。代替となる施設はありますが、保育所の保育士の専門知識を提供することが可能であり、事業継続の必要性があります。
② 事業の効果性	4	定期的に事業を開催することで、子育て世帯の育児に対する支援や相談を行っています。本事業を通じて、近隣地域に暮らす子育て世帯の交流が図られています。
③ 事業の効率性	5	最小限の費用と既存の施設で実施をしています。

※評価は、5:「極めて高い」、4:「高い」、3:「普通」、2:「低い」、1:「極めて低い」を目安に5段階で記入してください。

総合評価	○ 拡充 ● 継続 ○ 改善 ○ 廃止 ○ 統合
所管課による評価の理由 (事業に対する取組方針)	本事業は、子育て世代の育児に関する不安の解消や孤立化を防止し、地域との交流の場としての役割を担っています。また、既存の施設と保育園職員の専門知識を活用するため、最小限の経費で実施できることから継続が妥当です。
※「拡充」「改善」の場合は拡充・改善する具体的な内容を記載 ※「継続」の場合は継続する具体的な理由を記載 ※「統合」の場合は統合対象事務事業名を記載	

評価対象

事務事業名	芝地区区長と区政を語る会	開始年度	平成 18 年度
所属	芝地区総合支所管理課管理係	種別	—
所管課長	芝地区総合支所管理課長		
基本政策	—		
政策名	(29) 参画と協働により互いの顔が見える区政運営を推進する		
施策名	② 区民参画の推進		

事業概要

事業の目的	区政に関する区民の要望を的確に把握するため、区民各層から意見・提案を聴取し、区の施策への反映を図ることにより、区民参画による区政運営を推進します。
事業の対象	区内在住・在勤・在学者
事業の概要	<p>区長が区民と懇談を行い、区政に関する意見を聴取します。</p> <p>【開催時期】各総合支所で年1回 【開催場所】区役所会議室や管内施設など 【参加者】公募等による区民等 【テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度 「高齢者が健康に暮らせる地域づくり」 ・平成25年度 「区民とともにつくる災害につよいまち・芝地区」 ・平成26年度 「おもてなしのまち・芝地区」 ・平成27年度 「芝地区の新しい地域づくり～まちの幸せを呼ぶ人づくり～」 ・平成28年度 「若い世代と語る港区の将来」 ・平成29年度 「芝から環境問題を考える」
根拠法令等	港区集団広聴実施要綱

事業の成果

指標	指標1	参加者数			指標2				指標3			
		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率
	平成28年度	10	8	80.0%	平成28年度				平成28年度			
	平成29年度	10	9	90.0%	平成29年度				平成29年度			
	平成30年度	10	—	—	平成30年度		—	—	平成30年度		—	—
指標から見た事業の成果	概ね予定していた参加者数を確保し、事業を実施することができました。複数の視点から区民の意見や要望を把握することができたほか、区長から区の施策等について考え方を示すことができました。											

事業費の状況(単位：千円)

年度	予算状況									決算状況	
	当初予算額	一般財源	国庫支出金	都支出金	基金	その他	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率
平成28年度	42	42	0	0	0	0	0	0	42	23	55%
平成29年度	43	43	0	0	0	0	0	0	43	23	53%
平成30年度	43	43	0	0	0	0	—	—	—	—	—
事業費から見た事業の状況	事業費は予算額・決算額ともに横ばいの状況です。決算額が約50%程度となっているのは、手話通訳に係る費用が未執行であることと、反訳委託の契約落差によるものです。										

事務事業を取り巻く状況等	
前回評価からの改善事項等 (付帯意見への対応等)	本事業のテーマを単独に設定するのではなく、他の地域事業と連携する等してテーマ設定に取り組んでいます。
区民ニーズや要望 (今後の需要見込み)	公募による応募者は少ないですが、直接区長と懇談し、意見や要望を伝えたいという潜在的な区民ニーズはあります。
他団体等の取組状況 (類似事業の有無)	【港区】 ・区政モニター（区長室） ・町会・自治会連絡会（各地区総合支所で実施、質問・問い合わせ事項への回答など） 【他区】 ・23区中、19区が類似事業を実施しています。
コスト削減の 工夫・余地	参加者飲料、会議録反訳等に係る必要最小限の経費であり、削減の余地はありません。
委託の有無	なし 一部委託 全部委託
委託の内容	—
委託等アウトソーシングの 余地・可能性 (委託なしの場合)	会議運営、資料作成業務等を委託する余地はありますが、費用対効果を考える必要があります。
事業の課題	区長が直接区民から意見・要望を聴取できる機会であり、集団広聴の一環として今後も継続していく必要があります。参加する区民からは区全体への意見・要望が挙げられる実情があるため、芝地区の施策に対する意見や提案を聴取するためにテーマ設定に工夫を施すことが課題です。
次年度へ向けた 事務の改善点	芝地区の実情と地域特性を踏まえ、地域在住・在勤・在学者の方へのヒアリング等を実施する等して、地域の関心あるテーマを探り、区長と区政を語る会の活性化を図ります。また、他の地域事業と連携して、区長と区政を語る会での成果を有効活用できるよう取り組みます。

一次評価（所管課による自己評価）		
項目	評価※	評価の理由・コメント
① 事業継続の必要性	4	区長が直接区民から意見・要望を聴取できる機会であり、集団広聴の一環として事業の継続は必要です。
② 事業の効果性	4	区民が区長と直接意見・要望を伝える機会であり、区民にとっては有意義です。
③ 事業の効率性	4	経費は妥当かつ効率的です。より多様な区民各層が参画できる時間や場所等の設定を検討する必要があります。

※評価は、5:「極めて高い」、4:「高い」、3:「普通」、2:「低い」、1:「極めて低い」を目安に5段階で記入してください。

総合評価	○ 拡充 ● 継続 ○ 改善 ○ 廃止 ○ 統合
所管課による 評価の理由 (事業に対する 取組方針) ※「拡充」「改善」の 場合は拡充・改善 する具体的な内容を記載 ※「継続」の場合は継続 する具体的な理由を記載 ※「統合」の場合は統合対 象事務事業名を記載	区長が直接区民から意見・要望を聴取できる機会であり、集団広聴の一環として今後も継続すべき事業であると評価します。しかし、区長と語る会のため、参加する区民からは区政全体への意見・要望となりがちであるため、支所単位でのテーマ設定に工夫の余地があります。